

令和6年度 事業計画

1 基本方針

日本経済は、コロナ禍から徐々に脱却し、回復基調が続くのではないかと期待されていましたが、新年早々に発生した能登半島大地震が地域経済に大きな影響を及ぼすのではないかと危惧されているところです。

震源地にも近く、震度5強を記録した高岡市は、液状化現象などにより市内各地で大きな被害が発生しました。復旧・復興に向けたロードマップが示されましたので、震災復興関連業務につきましては、優先的に協力いたします。

今年度は、昨年度に策定しました第3次中期計画（計画年度：令和6年度～10年度）がスタートします。当該計画に定めた目標値（会員数、契約件数・金額、就業率）を達成するよう各年度の事業実施計画に基づき、会員、役職員が一丸となり、取り組んでいきます。

2 事業実施計画

（1）新会員の入会促進

シルバー人材センターは、会員が主体的に運営する組織であり、会員の増強なくして事業の拡大は成しえません。新規会員の勧誘と入会促進に努めます。

- N ① WEB入会システムの周知拡大を図る。
- ② 通年、毎月第3水曜日に「仕事の（入会）説明会」、第3木曜日に「レディース説明会」を開催します。
- ③ 通年、毎月第2水曜日と第4水曜日にハローワーク高岡で「入会相談会」を開催します。
- ④ 老人クラブなどの関係団体と共催事業等を実施し、シルバーの認知度を高めながら、相互に会員増を図っていきます。
- ⑤ 会員が新たな会員を紹介する「友達紹介キャンペーン」を実施します。
- N ⑥ 市のSNSを利活用し、入会説明会の開催案内を適宜発信します。
- ⑦ 県シ連とタイアップしてマスメディアを活用した会員募集および入会説明会の案内広報を行います。

（2）就業機会の拡大と就業率向上の推進

就業機会の拡大は、会員の入会促進とともに事業の根幹をなすものです。受注業務の拡大を図るため、会員の口コミやパンフレットを活用し、就業機会の確保に努めます。また、未就業者の就業機会を確保し、就業率の向上に努めます。

- N ① WEB受注システムの周知拡大を図る。
- ② 会員の就業ニーズと公共機関や企業のニーズを的確に捉え、会員と求人事業所等とのマッチングを図ります。

- ③ 就業開拓委員会では、マスメディア、インターネット等を活用して市場ニーズを分析し、就業業種・職種の提案を行います。
- ④ 就業相談会を随時開催し、未就業会員の就業確保に努めます。
- ⑤ 会員向けの「事務局だより」を発行し、就業情報等の提供に努めます。
- ⑥ 事務局やホームページで、現在受注している仕事の情報を公開します。
- ⑦ 未就業会員に対して、面談や電話連絡等で現状を把握し、就業機会の提供に努めます。

(3) 安全・適正就業の推進

会員が事故防止に必要な知識と技能を身に付け、安全就業に対する自己管理能力を高めるよう、安全就業対策を推進します。

適正就業については、「法令遵守」を基本とし、会員・発注者に「適正就業のガイドライン」の周知を行います。

- ① 安全・適正就業推進委員会では、就業現場の安全パトロールを実施します。
- ② 剪定・草刈り作業に従事する会員に対し、県内全センターで共通して取り組む「令和6年度事故防止共通取組」の周知と実行を呼び掛けます。
- ③ 草刈り作業時の飛石対策として、防護ネット等を貸与します。
- ④ 作業前ミーティングによる安全確認の徹底を呼びかけます。
- ⑤ 安全就業に関する各種情報の収集と提供に努めます。
- N ⑥ WEBアプリを活用した事故情報などをリアルタイムで配信し、注意喚起を促します。

(4) 普及啓発活動の推進

あらゆる機会を通じて、センターの仕組み及び活動状況を一般家庭、事業所、公共団体等に周知し、地域社会の理解と支援を広げます。

- ① 就業開拓委員会では、10月の全国一斉「普及啓発促進月間」に合わせ、会員互助会が主催する文化祭にセンター事業のPRコーナーを設け、センターの周知と会員募集に努めます。
- ② 広報委員会では、「シルバーだより高岡」を年2回発行し、広く配布します。
- ③ 広報委員会では、センター事業の情報発信に努め、マスメディアへの掲載を促し、センターの認知度の高揚に努めます。
- ④ 会員互助会と連携し、地域奉仕活動を実施します。
- ⑤ 「高岡SDGsパートナー」として持続可能なまちづくりの取組みを進め、地域の活性化に協力します。

(5) 講習会・研修会の開催

会員の知識・技能・マナーの向上、後継者の育成及び就業機会の確保を推進するために、講習会・研修会を開催します。

- ① 会員や市民を対象とした剪定講習会、雪吊り講習会など技能講習会を開催します。

- ② 安全就業に関する研修会を開催します。
- ③ 就業中におけるマナー向上を目指した研修会を開催します。
- ④ 「会員懇談会」「職群別懇談会」を開催し、会員・役職員との意見交換を行います。
- ⑤ デジタル化に対応するため、会員を対象としたスマートフォン教室を開催します。

(6) 高齢者活用・現役世代サポート事業の実施

少子・超高齢化の進展で労働力人口が減少する中、現役世代の雇用環境を向上させるため、人手不足分野等における派遣事業での就業機会を開拓し、高齢者の活躍の場を創出するため、高齢者活用・現役世代サポート事業を実施します。

令和4年度から実施している介護サポーター事業は継続します。

(7) デジタル化の推進

スマートフォン会員専用アプリの登録者拡大を図り、利便性向上と事務の効率化を進めます。

- ① WEB入会、WEB受注を進め、迅速な事務処理を進めます。
- ② 配分金明細、仕事の仕様書、契約内容など事務局から会員向けの情報発信を郵送による方法からWEB上で提供することにより、スピード化と経費節減に努めます。
- ③ 会員専用アプリと高岡市の高齢者用アプリの連携により、相互に閲覧者の拡大を図り、効果的な利用拡大を進めます。
- ④ 高齢者が社会の急激なデジタル化に取り残されないよう講習会、説明会、相談会などを適宜開催します。